

思考力・判断力・表現力を育む国語科の指導 ～言語活動の充実を通しての研究～

I 研究テーマについて

昨年度までは、主として「伝え合う力(表現力)」の育成を図ってきたが、今年度は昨年度までの研究の成果と課題を踏まえ、「思考力・判断力」にも重点を置き、「思考力・判断力・表現力」の育成を図ってきた。今年度は、「読むこと」における指導の工夫について取り上げ、研究を進めてきた。近年注目されている「アクティブ・ラーニング」の理論も取り上げ、国語科における言語活動の充実についても理解を深めていきたいと考え、このテーマに設定した。

II 研究の内容

1 「思考力・判断力・表現力を育む国語科の指導」～言語活動の充実を通して～

○物語のクライマックスを考える学習の指導について

講師 山梨学院短期大学特任教授 佐藤 喜美子 先生

- (1) 講演 ・次期学習指導用領における国語科に必要とされる力
・現場で働いていたときの実践から
・クライマックス場面について ・授業の山場と発問づくり
・「読むこと」の指導 等
- (2) 質疑

2 授業研究

(1) 単元名「サーカスのライオン」（東京書籍）

加納岩小学校3年担任 加賀美 瑞穂教諭

(2) 単元の目標

【読む能力】◎物語の中心人物の気持ちが全体を通してどのように変化したのかを読み取ることができる。

◎文章を読んで考えたことについて発表し合い、一人ひとりの感じ方に違いがあることに気づくことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

表現したり理解したりするために必要な語句を増やす。

(3) 成果と課題

ア 「心情曲線」を活用した読解

…中心人物の心の変容を読み取ることで、物語を深く読み取ることができた。

(思考力の育成)

イ クライマックス場面に着目した読解

…中心人物の心情が一番大きく変化したところをおさえ、叙述を根拠になぜ変化したのかを読み取ることで自力読みができていた。

(思考力・判断力の育成)

ウ 叙述を根拠にした考えたことの話し合い

…自分がなぜそう思ったのかを交流することで、新たな考えに気がつくことができた。

(思考力・表現力の育成)

3 実践交流

「思考力・判断力・表現力を高める指導」について、各人が一実践を持ち寄り、授業の様子を交流した。質疑応答の時間をとることで互いの問題意識を共有することができた。

4 小中授業交流

(1) 教材名 「言葉の力」(光村図書) 塩山中学校2年 根岸 喜久恵教諭

(2) 単元の目標

【読むこと】◎エピソードと筆者の考えとの関連を捉え、筆者の考えを読み取る。

◎筆者の言葉に対する考えに対して自分の考えをもつ。

(3) 成果と課題

ア 自分たちなりに言葉について真剣に考えていた。

イ 教材を通して、言葉に対しての考えを深めることができた。

ウ 生徒たちの考える時間、思考を深める時間の確保が充分ではなかった。

エ 生徒たちの体験を振り返らせながら、読み取ることが大切だと思えた。

Ⅲ 成果と課題

○授業実践において「心情曲線」や「クライマックス場面」など、文学的文章の読解における新たなスタイルが提案されたので、「読むこと」の指導の参考になった。

○山梨学院短期大学特任教授である佐藤喜美子先生の講演で、国語科の文学的文章における指導の在り方を知ることができ、日常の授業実践にいかすことができた。

○一人ひとりの普段の授業実践を持ち寄り情報共有をしたので、色々な「思考力・判断力・表現力」を育む実践を知ることができた。

(部長 望月 清美)